

柏原市立歴史資料館等運営協議会

資 料

日 時 令和4年6月6日（月）

午後2時～4時

場 所 柏原市立歴史資料館研修室

目 次

I 令和3年度事業報告

- 1. 歴史資料館関係 1
- 2. 横穴管理運営関係 16

II 令和4年度事業計画

- 1. 歴史資料館関係 17
- 2. 横穴管理運営関係 22

資料

- 柏原市立歴史資料館等運営協議会規則
- 柏原市立歴史資料館等運営協議会委員名簿

事務局

- | | |
|--------------------|-------|
| 教 育 長 | 新子 寿一 |
| 教 育 部 長 | 福島 潔 |
| 教育部次長 | 寺川 款 |
| 文化財課長 | 松田 佳世 |
| 文化財課長補佐 | 山根 航 |
| 歴史資料館館長（再任用） | 安村 俊史 |
| 文化財課主査 | 林 利江子 |
| 歴史資料館学芸員 | 越智 勇介 |
| 歴史資料館学芸員 | 黒田 和希 |
| 歴史資料館学芸員（会計年度任用職員） | 石田 将大 |

I 令和3年度事業報告

1. 歴史資料館関係

(1) 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館

- a. 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和3年4月25日（日）から6月20日（日）まで臨時休館。
- b. 上記期間中の講演会、講座等をすべて中止もしくは延期。
- c. 講演会等の定員規制（定員70名、令和4年から80名）。
- d. 文化財講演会、市民歴史大学等をメールもしくは往復はがきによる事前申込制。
- e. 緊急時の連絡先確認等の実施。

(2) 常設展示

- a. 民具の展示コーナーを3回展示替え。
- b. 4月に速報展示のコーナーを「葛城修験」から地域文化遺産活性化事業に伴う「よみがえった『ふとん太鼓』一本郷と太平寺」に展示替え。
- c. 4月に特集展示を「悪鬼退散！古代のまじない」から「高井田横穴群」に展示替え。
- d. 5月に近世の展示コーナーを「大和川の付け替え」に展示替え。
- e. 7月に特集展示を「高井田横穴群」から京都国立博物館相互活用促進事業による「船橋遺跡」に展示替え。
- f. 9月に特集展示を「船橋遺跡」から秋季企画展に伴う「つけかえ後の大和川」に展示替え。
- g. 9月の特集展示「船橋遺跡」終了後は、京都国立博物館からの借用資料の一部を3月まで常設展示。
- h. 11月に写真展示コーナーを「龍田古道・亀の瀬」から日本遺産「葛城修験」のリレー展示に展示替え。
- i. 11月に写真展示コーナーを「龍田古道・亀の瀬」に復帰し、速報展示コーナーを「よみがえった『ふとん太鼓』一本郷と太平寺」から日本遺産「葛城修験」に展示替え。
- j. 12月に特集展示を「つけかえ後の大和川」から「柏原村今町 三田家文書の世界」に展示替え。
- k. 3月に特集展示を「三田家文書の世界」から「高井田横穴群」に展示替え。近世コーナーを「大和川付け替え」に展示替え。
- l. そのほか、企画展、資料貸し出し等に伴って展示資料を入れ替え。

(3) 企画展

a. 「世界かんがい施設遺産 長瀬川と玉串川」(令和2年度事業)

令和3年3月27日～4月24日(当初予定6月13日まで)

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館のため。

観覧者数 521名(個人521名、団体0名)

b. 「日本書紀と柏原」

令和3年7月3日～8月29日

『日本書紀』完成から1,300年を記念して令和2年度実施予定だった企画展。

観覧者数 1,323名(個人1,309名、団体14名)

c. 「つけかえ反対! 大和川つけかえに反対した人たち」

令和3年9月14日～12月5日

松原市民ふるさとびあプラザと史料を相互に貸借して、つけかえ反対の視点を大きく導入した展示。大和川市民ネットワークのパネル展示参加。

観覧者数 5,772名(個人1,684名、団体4,088名)

見学小学校56校、3,933名(2年度40校、2,802名)

d. 「ちょっと昔の道具たちーくらしのなかの布ー」

令和4年1月4日～3月6日

観覧者数 1,424名(個人1,078名、団体346名)

見学小学校5校、334名(2年度0校、0名)

e. 「聖徳太子の伝説と真実ー柏原・王寺・三郷の道と寺ー」

聖徳太子没後1,400年を記念して柏原市・奈良県王寺町・三郷町の三市町共催事業として開催。

令和4年3月28日～6月12日

(4) 特集展示

a. 「高井田横穴群」

令和3年4月27日～7月1日

b. 「船橋遺跡」京都国立博物館相互活用促進事業

令和3年7月3日～9月11日

c. 「つけかえ後の大和川」

令和3年9月13日～12月19日

d. 「柏原村今町 三田家文書の世界」

令和3年12月21日～令和4年3月20日

e. 「探究! 高井田横穴群」

令和4年3月22日～6月26日

(5) スポット展示

「こんなモノをいただきました」をテーマに2ヶ月ごとに展示替え。9～10月の展示は博物館実習生による展示。

- a. 御殿雛、雛道具（寄贈 1993-3、2021-1）

令和3年3～4月

- b. ひとつへっつい（寄贈 95-4）、しちりん（90-3）、天火調理器（13-4）

令和3年5～8月

- c. 謄写版（寄贈 08-6）、画譜（08-3）、応援歌集（13-5）、トランプ（13-10）、蓄音機（13-7）

令和3年9～10月

- d. 英文タイプライター（寄贈 15-14）、電動タイプライター（13-11）、電動和文タイプライター（15-10）

令和3年11～12月

- e. 火縄銃（寄贈 14-5）、甲冑（06-6）

令和4年1～2月

- f. 御殿雛、雛道具（寄贈 94-3）

令和4年3～4月

(6) 出張展示

- a. 令和3年9月15日から10月10日まで、柏原市市民歴史クラブ、大阪府立中央図書館との共催事業として、府立中央図書館にて出張展示「世界かんがい施設遺産 長瀬川と玉串川」を開催。中央図書館1階展示コーナーにて、長瀬川・玉串川流域ジオラマ、築留二番樋模型、はねつるべ模型とパネルによる展示を実施した。

(7) 文化財講演会 定員 70名、参加費 200円

- a. 令和3年7月24日（土）

『日本書紀』と柏原一雄略朝を中心にー

講師 安村俊史（当館館長）

聴講者数 70名

- b. 令和3年7月31日（土）

『日本書紀』のなりたちーその素材と構造ー

講師 下鶴 隆氏（大阪府立登美丘高等学校教諭）

聴講者数 61名

- c. 令和3年9月23日（木・祝）

「大和川学習と市民活動～川を学び、川であそぼう～」

講師 小松清生氏（大和川市民ネットワーク）

「大和川つけかえに反対した人たち」

講師 安村俊史（当館館長）

聴講者数 36名

d. 令和3年10月30日（土）

「反対地域からみた大和川の付け替え」

講師 西田敬之氏（松原市市民ふるさとびあプラザ）

聴講者数 56名

(8) 市民歴史大学 定員70名（令和4年から80名）、参加費 200円
年間テーマ「日本書紀と柏原」（文化財講座例会と兼ねる。）

a. 令和3年8月15日（日）

「聖徳太子の虚像と実像－『隋書』にみえる「倭王」とは誰か－」

講師 塚口義信氏（堺女子短期大学名誉学長・名誉教授）

聴講者数 70名

b. 令和4年1月22日（土）

「鳥追い伝承とアメノユカワタナ」

講師 古市晃氏（神戸大学教授）

聴講者数 49名

c. 令和4年2月19日（土）

「日本書紀の成り立ち－武烈天皇から継体天皇へ－」

講師 遠藤慶太氏（皇學館大学教授）

聴講者数 71名

(9) 体験教室

a. 令和3年12月5日（日） 定員10名

「しめなわを作ろう」 講師 横尾卓治氏（市内雁多尾畑在住）

参加者数10名

b. 令和4年2月6日（日） 定員10名

「わらぞうりを作ろう」 講師体調不良のため中止

(10) 文化財講座

年間11回の予定だったが、実際には9回の開催となった。

受講者数 49名（定員60名）、受講料 年間2,000円、担当 山根

年間テーマ『『日本書紀』と柏原』

a. 令和3年7月10日 ※5月8日、6月12日から延期

「日本書紀とは－柏原との関係－」（講義・山根）

b. 令和3年8月15日

市民歴史大学「聖徳太子の虚像と実像－『隋書』にみえる「倭王」とは誰か－」
塚口義信氏

c. 令和3年9月11日

『日本書紀』編さんの意義－河内シキ地域の地域史を例に－（講義・越智）

d. 令和3年10月9日

見学会その1－日本書紀ゆかりの地をめぐる（柏羽藤）

e. 令和3年11月13日

見学会その2－日本書紀ゆかりの地をめぐる（斑鳩・安堵）

f. 令和3年12月11日

見学会その3－日本書紀ゆかりの地をめぐる（樞原・明日香）

g. 令和4年1月22日

市民歴史大学「鳥追い伝承とアメノユカワタナ」 古市 晃氏

h. 令和4年2月19日

市民歴史大学「日本書紀の成り立ち－武烈天皇から継体天皇へ－」 遠藤慶太氏

i. 令和4年3月12日

「まとめ」（講義・山根）

(11) 古文書講座 定員 各24名、受講料 年間1,000円、担当 越智

6月の最初の講座が新型コロナウイルス感染拡大に伴って中止となったが、令和4年4月2日に実施したため、合計10回となった。

a. 初級編 年間10回 受講者数 24名

『河内鑑名所記』を読む。

b. 中級編 年間10回 受講者数 23名

三田家文書をなど読む。

(12) 館長と学ぶ河内の古道講座 定員70名、参加費 200円、担当 安村

a. 令和3年6月26日 「斑鳩から飛鳥へ」 聴講者数 65名

b. 令和3年9月25日 「聖徳太子と推古朝の大道」 聴講者数 37名

c. 令和3年10月23日 「河内の正方位直線道」 聴講者数 41名

d. 令和3年11月27日 「壬申の乱と河内の古道」 聴講者数 57名

e. 令和3年12月25日 「七道の整備と駅伝制」 聴講者数 57名

f. 令和4年2月26日 「駅家の構造と駅伝制」 聴講者数 58名

g. 令和4年3月26日 「平城から難波への行幸路」 聴講者数 52名

※令和3年4・5月の講座は順延。

(13) 博物館実習 担当 山根

a. 令和3年8月24日～29日 6日間

都留文科大学 1名、奈良大学 3名、龍谷大学 1名、近畿大学 3名 計8名
内容 館内施設の説明と見学、考古資料の扱い、民俗資料の整理、文書史料の整理、
写真の撮影、スポット展示の実施

(14) 大学との連携事業

a. 令和3年5月26日 担当 安村

大阪教育大学の多文化フィールドワーク（高山新教授）で「龍田古道の歴史」を講義。及び7月14・21・28日の成果発表会における意見交換、アドバイス等。

b. 令和3年7月2日 担当 安村

大阪教育大学櫻澤誠先生の歴史ゼミで当館の案内、活動内容紹介、意見交換等。

c. 令和3年7月10日 担当 安村

大阪教育大学グローバルセンター（長谷川ユリ教授）留学生7名に「柏原の歴史」講義、史跡高井田横穴公園・歴史資料館の案内。

d. 令和3年10月25日～29日 5日間 担当 安村

大阪教育大学の教育協働学科の学生が、学校教育との関わりを実習する教育コラボレーション演習で学生3名を受け入れ。来館小学校の大和川付け替え学習に対応。見学小学生への解説や引率、付け替え学習に対する新しい提案を課題とする。

(15) 資料調査・整理

a. 今町・三田家文書の調査・整理。目録『三田家文書目録Ⅰ』刊行。寄託史料を返却し、新たな史料を受け入れ、整理を継続。

b. 大県・山崎家文書の整理。寄託史料仮目録作成、返却。新たな史料を受け入れ、整理を継続。目録刊行に向けて準備。

c. マイクロフィルム撮影事業。平成19年度から実施し、令和3年度は1,600カットの撮影。柏原市古文書調査報告5『柏元家文書目録Ⅲ』の撮影を実施。

(16) 所蔵・保管資料の貸し出し

計13件

a. 奈良国立博物館・東京国立博物館

特別展「聖徳太子と法隆寺」に展示

令和3年1月14日～9月23日

夾紵棺片（安福寺寄託品、市指定文化財）

1点

b. 国立歴史民俗博物館

常設展示

令和3年4月1日～令和4年3月31日

- 大県遺跡：鞆羽口 2 点・鉄滓 2 点・砥石 2 点 計 6 点
- c. 大阪府立近つ飛鳥博物館
常設展示
令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日
大県遺跡：鉄滓 6 点、鞆羽口 7 点、砥石 2 点 計 15 点
- d. 大阪府立近つ飛鳥博物館
春季特別陳列「献ずる器―須賀古墳群を中心に―」に展示
令和 3 年 2 月 25 日～6 月 13 日
平尾山古墳群平野・大県第 10 支群 1 号墳：須恵器 2 点、土師器炊飯形土器 5 点、高井田横穴群 4-42 号横穴：須恵器 7 点 計 14 点
- e. 京都国立博物館
考古資料相互活用促進事業に伴う資料貸出
令和 3 年 5 月 19 日～令和 4 年 3 月 25 日
大県遺跡：鞆羽口、砥石、鉄滓、大里寺跡：軒丸瓦、軒平瓦、墨書土器、高井田遺跡：青磁椀、平尾山古墳群雁多尾畑第 49 支群：和同開珎銀錢、田辺古墓群：須恵器蔵骨器、埴 4 点 計・・・点
- f. 柏原市人権推進課
柏原市平和展における実物資料の展示
令和 3 年 7 月 30 日～8 月 24 日
軍用スコップ、水筒 2 点、兵隊用靴、軍隊手帳、鉄かぶと 2 点、兵帽、銃剣、ヤカン、水さし、ゲートル、たすき、軍事絵葉書一式、フライパン、防毒用マスク、消化弾、国民服儀礼章、腰バック、革手袋、弁当箱 計 21 点
- g. 一般財団法人松原市文化情報振興事業団（松原市市民ふるさとぴあプラザ）
企画展「大和川付け替え展―付け替え推進と反対―」に展示
令和 3 年 8 月 28 日～10 月 10 日
中家文書：「元禄年間大和川附換図（川違新川図）」「乍恐口上書を以言上」「乍恐御訴訟」「旧大和川流域図」「新川筋水盛之覚」「中甚兵衛肖像画」（すべて市指定文化財） 計 6 点
- h. 大阪府立近つ飛鳥博物館
秋季特別展「玉からみた古墳時代の考古学」、
令和 3 年 9 月 13 日～12 月 24 日
茶臼塚古墳：石製品 10 点、高井田山古墳：耳環 3 点・ガラス玉 322 点（すべて市指定文化財） 計 335 点
- i. 大阪歴史博物館
特別展「難波をうたう」に展示
令和 3 年 9 月 21 日～令和 3 年 12 月 12 日

- 青谷遺跡：軒丸瓦 4 点・軒平瓦 2 点、安堂遺跡：木簡 6 点（市指定文化財）・箸 12 点・杓子 3 点・篋 2 点・土師器 3 点 計 32 点
- j. 太子町竹内街道歴史資料館
 聖徳太子 1400 年遠忌記念企画展「聖徳太子墓」
 令和 3 年 9 月 1 日～12 月 25 日
 夾紵棺片（安福寺寄託品、市指定文化財）、夾紵棺復元品（当館所蔵） 計 2 点
- k. 市内小学校教諭
 学校での授業で使用
 令和 3 年 10 月 7 日～令和 4 年 4 月 7 日
 注染型紙 4 点、河内木綿 4 点 計 8 点
- l. 個人
 イベントでの展示
 令和 3 年 10 月 31 日～11 月 14 日
 亀の瀬・日本遺産ポスターパネル 1 点
- m. 八尾市立歴史民俗資料館
 特別展「八尾の鉄道 開通ものがたり」
 令和 4 年 1 月 26 日～5 月 30 日
 大阪鉄道開通時のレール 1 点
- (17) 所蔵・保管資料の撮影・写真貸出等 計 25 件
- a. 大阪府立近つ飛鳥博物館
 春季特別展「献ずる器」に伴う展示パネル、ポスター・チラシ・ホームページ等の広報資料への掲載。
 写真提供：平尾山古墳群航空写真、平尾山古墳群平野・大県第 10 支群 1 号墳、高井田横穴群第 4 支群 42 号横穴の写真 計 5 点
- b. シビックプランニング研究所・(株)南風社
 『場所の記憶—大阪東部下町／旧神路村界限とその周辺まちづくり史』に掲載。
 図転載：当館ホームページの「付け替え前の大和川」の図 1 点
- c. (株)アフロ
 (株)日能研発行の小学 5 年生を対象とした塾用教材に掲載。
 写真提供：智識寺模型の写真 1 点
- d. 個人
 個人作成のホームページへ掲載。
 写真転載：当館ホームページの高井田山古墳石室の写真 1 点
- e. 一般財団法人松原市文化情報振興事業団（松原市市民ふるさとびあプラザ）
 企画展「大和川付け替え展」にパネル展示。

- 写真貸出：中家文書「川違新川舟橋村より海迄百三拾壺町之間地形高下之事」写真 1点
- f. 大阪府立近つ飛鳥博物館
 秋季特別展「玉からみた古墳時代の考古学」に伴う図録・展示パネル、ポスター・チラシ・ホームページ等の広報資料・動画への掲載。
 写真提供および掲載：茶臼塚古墳の写真1点、高井田山古墳の写真12点(写真提供)、茶臼塚古墳腕輪形石製品(写真掲載) 計14点
- g. (株)幻冬舎ルネッサンス新社
 『ユダヤ系王子が語る装飾古墳』に掲載。
 図提供：高井田横穴群第3支群5号横穴線刻壁画の図 2点
- g. 大東市立歴史民俗資料館
 企画展「新田の歴史と遺産」でパネル展示。
 写真掲載：中家文書の写真 3点
- h. 個人
 大学での研究のため。
 写真複写：田中幸太郎氏撮影のぶどう関連写真 95点
- i. (株)Z I Z O
 雑誌に掲載。
 写真転載：当館ホームページの智識寺模型の写真 1点
- k. 個人
 (株)アジア太平洋観光社発行『中国紀行』に掲載。
 写真提供：高井田横穴群第3支群5号横穴線刻壁画2点、智識寺東塔の礎石の写真 計3点
- l. 個人
 川上嘉市の記録書に掲載。
 写真提供：昭和5年発行拾圓銀行券の写真 1点
- m. 大阪歴史博物館
 特別展「難波をうたう」に伴う広報・展示関連図書への掲載。
 写真提供：青谷遺跡全景・軒瓦の写真、安堂遺跡出土木製品の写真3点 計5点
- n. 太子町立竹内街道歴史資料館
 企画展「聖徳太子墓」に伴うポスター・チラシ・図録等印刷物への掲載。
 写真提供：安福寺所蔵夾紵棺の写真 3点
- o. 個人
 論文執筆のため。
 写真提供：山崎家文書の写真 5点
- p. 山鹿市立博物館

- 冬季企画展「チョマツ・ころう君の装飾古墳探検隊」に使用。
写真提供：高井田横穴群第3支群13号横穴鳥の線刻壁画の写真 1点
- q. (株)アフロ
(株)リクルート発行の高校生を対象とした有料会員制オンライン学習教材に掲載。
写真提供：柏元家文書「五榜の揭示」の写真 1点
- r. 八尾市立歴史民俗資料館
特別展「八尾の鉄道 開通ものがたり」に伴う図録・チラシ・ポスター等の刊行物とパネルに掲載。
写真提供：大阪鉄道開通時のレールの写真 1点
- s. 大阪国税局
「G I 大阪誕生史」に掲載。
写真提供：ぶどう関連の写真 22点
- t. 坂出市史編さん所
『開法寺の歴史から見る さかいで瓦物語』に掲載。
写真掲載：田辺廃寺出土軒平瓦の写真 1点
- u. (株)ベネッセコーポレーション
教材に掲載。
写真提供：安堂遺跡出土木簡の写真 1点
- v. 学校法人河合塾
教材に掲載。
写真転載：茶臼塚古墳出土円筒埴輪の写真 1点
- w. 個人
研究報告に掲載。
写真掲載：高田山古墳出土神人龍虎画像鏡の3Dデータ等 計3点
- x. 八尾市魅力創造部観光・文化財課市史編纂室
『新版八尾市史 通史編2』の資料調査。
写真撮影：小山家文書 4点
- y. FILE Publications,inc.
『全国の古墳図鑑』に掲載。
写真提供：玉手山古墳群・松岳山古墳・高井田横穴群の写真 計8点
- (18) 所蔵・保管資料の調査・見学等 計13件
- a. 個人
国分中学校旧蔵埴輪
- b. 大阪歴史博物館学芸員
青谷遺跡出土軒瓦、安堂遺跡出土木簡・木製品・土師器

- c. 松原市市民ふるさとびあプラザ学芸員
中家文書
- d. 学生（京都大学）
平尾山古墳群雁多尾畑6支群13号墳、平野・大泉10支群1号墳・15支群10号墳・
17支群1号墳、高井田山古墳出土鉄釘・鏃
- e. 大学院生（京都大学）
船橋遺跡井戸3～6出土土器
- f. 大学院生（京都府立大学）
山崎家文書
- g. 小学校教諭3名
注染の型紙
- h. 個人
高田山古墳出土神人龍虎画像鏡
- i. 大学院生（京都府立大学）
山崎家文書
- j. 個人
茶臼塚古墳出土鍬形石
- k. 個人
高井田山古墳出土耳環、田辺古墳群17号墳出土耳環、平尾山古墳群平尾山85支群
3号墳出土耳環
- l. 個人
本郷遺跡出土庄内式土器
- m. 八尾市史編纂室2名
小山家文書

- (19) 寄贈資料 計19件
- a. 平瓦（鳥坂寺跡出土） 1点
 - b. 五月人形、天秤ばかり用分銅、レコード箱（レコード有）7点 計21点
 - c. 扇風機、電気あんか、アイロン、ラジオ、電気毛布2点、裁縫台 計7点
 - d. 提灯、蛍光灯あんどん、電気やぐらこたつ、下駄3点、草履、置時計、蛍光灯スタ
ンド、書道具一式、桶、飯櫃、裁縫道具一式、薬箱、風呂敷2点、賞状、国庫債券2
点、物品支給証明書、日本軍記念猪口17点、日本軍記念盆2点、国分地区住所表示変
更通知書 計40点
 - e. 河南鉄道玉手遊園絵葉書 7点
 - f. 七輪、鉄瓶、蚊帳、火鉢（五徳・火箸付）、ブリキ製収納箱 計5点
 - g. かいろ、かいろ灰、黄金カイロー式、自動卵ゆで器、電気炊飯器、電子ジャー

	計 6 点
h. 針箱、和裁用へら 3 点、櫛、和装用ハンガー、竹尺 4 点、カメラ、ラジオ付カメラ、電気アイロン、和裁用へら台、和服用敷き紙、和服用靴、柱時計、ハクキンカイロ、くけ台、懸張器	計 20 点
i. 黒電話、手回し電話、鬼瓦、鉄の原料標本、土器（コンテナ 2 箱分）、駕籠	計 6 点
j. 手回し扇風機、棹秤	計 2 点
k. 写真アルバム 2 冊、勲章 3 点、日の丸寄せ書き、出征将兵慰問写真画集戦没者遺族手帳	計 8 点
l. 鬼瓦	1 点
m. 写真	15 点
n. 茶釜、茶台	計 2 点
o. 櫛、簪、筭 2 点（箱入）	計 4 点
p. 簿冊 7 点、書籍 1 点、写真 1 点	計 9 点
q. 雛人形	一式
r. 書籍 2 点、やかん 1 点、こたつ 1 点、かまど 1 点	計 5 点
s. 餅箱	一式
(20) 寄託資料	計 3 件
a. 夾紵棺（柏原市指定有形文化財）	1 点
b. 古文書	4 点
c. 古文書	800 点
(21) 刊行物等	
a. 『日本書紀と柏原』 28 ページ、令和 3 年 7 月発行、300 円	
b. 柏原市古文書調査報告書第 16 集『河内国志紀郡柏原村三田家文書目録 I』 84 ページ、図版 4 ページ、令和 3 年 8 月発行、500 円	
c. 『柏原市立歴史資料館館報』第 33 号・2020 年度 58 ページ、カラー図版 1 ページ、令和 3 年 9 月発行、400 円	
d. 『聖徳太子の伝説と真実－柏原・王寺・三郷の道と寺－』 28 ページ、令和 4 年 3 月発行、300 円	
e. 『柏原の歴史 1 旧石器～弥生時代』 68 ページ、B 5 判、令和 4 年 3 月発行、500 円	
f. ミュージアムグッズ・すべらない下敷き 日本遺産「龍田古道・亀の瀬」関連グッズとして、亀の瀬トンネルをモチーフにし	

たキャラクター・カメトンのイラスト入り「すべらない下敷き」。200円

(22) 市民歴史クラブ

資料館を拠点にクラブとして自主的に活動。

9～10月には、大阪府立中央図書館で、当館・府立中央図書館と共催の「世界かんがい施設遺産 長瀬川と玉串川」の出張展示を行った。長瀬川・玉串川流域のジオラマ、築留二番樋の模型、はねつるべの模型などを展示。

秋から春季企画展「聖徳太子の伝説と真実」に展示するため、河内六寺周辺のジオラマ、聖徳太子墓（叡福寺北古墳）の石室模型などを製作・展示した。

これ以外にも、横穴公開の際の解説、冬季企画展見学のため来館した小学生の体験学習（なわなひ）等にもボランティアとして協力。

(23) 日本遺産関連事業

a. 龍田古道・亀の瀬

「もうすべらせない!!龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えていけ」

日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会関連事業として、令和3年7月17日に地元向けの亀の瀬周辺の見学ツアー実施。11月20日に「ぐるっとさんぽ」で亀の瀬の公開。令和4年2月5日に森ノ宮TTホールにて「日本遺産龍田古道・亀の瀬学べるシンポジウム」を開催。また、ボランティアガイドの養成、Eバイクによる亀の瀬周辺ツアー、亀の瀬トンネル内でのイベント実施、説明板・道標設置に向けての準備などに参加、協力。

当館への依頼事業として、大阪教育大学多文化リテラシーの授業、大和川河川事務所での職員研修、柏原市新規採用職員研修ほか講演会や講座などの講師を務める。ミュージアムグッズとして「すべらない下敷き」を作製・販売。

b. 葛城修験

「葛城修験一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」

当館と柏原市役所でリレー展示を実施、パンフレットの作成、説明板の設置に協力。

(24) オンラインガイドツアー

- a. 1月16日に実験的に実施のあと、1月31日、2月28日にビジュアルヒストリーガイドを実施。ボランティア団体とともに、高井田横穴群、高井田山古墳の現地と、資料館の展示や資料をオンラインで紹介するオンラインガイドツアー。
- b. 3月13日にリモート・ボランティア実施。市民団体、社会福祉協議会が主体となり、市内各施設を結んで、オンラインによる資料館の展示、資料を紹介する事業を実施。

(24) 利用状況

令和3年度歴史資料館利用状況（入館者数）

月	入館者数	開館日数	1日平均入館者数	土日祝日平均入館者数
4	300	21	14.3	13.9
5	0	0	0	0
6	182	8	22.8	45.5
7	766	27	28.4	51.4
8	588	27	21.8	30.0
9	751	27	27.8	33.2
10	2,365	27	87.6	50.3
11	2,664	25	106.6	37.8
12	1,140	24	47.5	44.3
1	696	25	27.8	24.4
2	569	24	23.7	33.7
3	666	28	23.8	39.8
合計	10,687	263	40.6	32.1

平成29～令和3年度・利用状況の変化

年度	入館者数	開館日数	1日平均入館者数	土日祝日平均入館者数
29	18,331	312	58.8	41.9
30	20,402	315	64.8	43.4
1	16,449	296	55.6	47.1
2	9,366	268	35.0	33.9
3	10,687	263	40.6	32.1

企画展別入館者数

- 「日本書紀と柏原」 1,323名（個人1,309名、2団体14名）
「つけかえ反対！」 5,772名（個人21,684名、60団体4,088名）
「ちょっと昔の道具たち」 1,424名（個人1,078名、6団体346名）
「聖徳太子の伝説と真実」

(25) 高井田文化教室「柏陽庵」利用状況

5人以上の一般の貸室と定期的なクラブ等の団体への貸室とに区別して有料で開放。茶道・華道・箏曲・俳句・川柳・短歌・詩吟・学生のクラブなどの文化活動の場として利用を呼び掛け。

柏陽庵利用状況

令和3年4月～令和4年3月

月別	クラブ利用者	一般利用者	合計	月別	クラブ利用者	一般利用者	合計
4月	90	0	90	10月	90	0	90
5月	0	0	0	11月	90	8	98
6月	53	0	53	12月	61	100	161
7月	70	100	170	1月	59	0	59
8月	41	28	69	2月	50	100	150
9月	70	0	70	3月	50	9	59
				総計	345	724	1,069

2. 横穴管理運営関係

(1) 史跡高井田横穴特別公開

- a 春季 5月15日(土) 新型コロナウイルス感染拡大のため中止
 - ・令和2年度に続いて、3年度も春季の公開が中止となった。
- b 秋季 10月16日(土) 午前10時～午後3時 71名
 - ・船に乗る人物の線刻壁画のある第3支群5号横穴も公開。
 - ・市民歴史クラブが参加・協力。

(2) 横穴公園等案内

特別公開日以外でも、団体の横穴見学希望者には、可能な限り職員が鍵を開けて数基の横穴を案内。ただし、第3支群5号横穴は非公開。令和2年度から、新型コロナウイルス感染防止のため、一度の案内人数を30名までに制限している。

年間20件程度の案内を実施。

(3) 維持管理

- a 保存工事を実施した第3支群5号横穴の経過観察を定期的実施(毎月)。
 - 目視、写真撮影、記録作成、他
- b 横穴公園内景観の維持管理。
 - 枯木等の伐採、他
- c 平成30年9月の台風21号による倒木等多数発生。現在も一部で公開中止の箇所がある。

Ⅱ 令和4年度事業計画

1. 歴史資料館関係

(1) 常設展示

資料貸し出し等に伴い、少しずつ展示資料を入れ替え。

近世・民具の展示コーナーは、季節感等も考慮して資料を入れ替えながら展示。
写真コーナー等で日本遺産「龍田古道・亀の瀬」「葛城修験」のパネル展示継続。

(2) 企画展示

- a. 「聖徳太子の伝説と真実ー柏原・王寺・三郷の道と寺ー」(令和3年度事業)

令和4年3月26日(土)～6月12日(日)

- b. 「史跡誕生100年ー高井田横穴と松岳山古墳ー」

令和4年7月2日(土)～8月28日(日)

- c. 「大和川のつけかえ 本当の理由は？」

令和4年9月13日(火)～12月4日(日)

- d. 「ちょっと昔の道具たち」

令和5年1月4日(水)～3月5日(日)

- e. 「高井田山古墳のすべて」(仮題)

令和5年3月25日(土)～6月11日(日)

(3) 特集展示

- a. 「探究！高井田横穴群」 令和4年4月～7月

- b. 「大県・山崎家文書展」 令和4年7月～9月

- c. 「大和川つけかえ後」 令和4年9月～12月

- d. 「府立弥生文化博物館里帰り展」 令和5年1月～3月

(4) スポット展示

「こんなモノをいただきました」

最近の寄贈資料を2か月ごとに展示替え。

(5) 出張展示

- a. 7～8月に、三郷町と共催で奈良県立美術館において日本遺産「龍田古道・亀の瀬」のパネル展開催。

- b. 令和4年9月14日から10月9日まで、柏原市市民歴史クラブ、大阪府立中央図書館との共催事業として府立中央図書館にて「聖徳太子の伝説と真実」を開催。

(6) 春季企画展「聖徳太子の伝説と真実」開催に伴うミニシンポジウムと見学会

- ・定員 60 名、事前にメールか往復はがきで申込
- a. 令和 4 年 4 月 24 日（日） 三郷町 参加者 34 名
 - ・午前に「三郷町と聖徳太子」講演（三郷町・大塚慎也氏）と座談会。
 - ・午後に平隆寺、今池瓦窯跡、辻ノ垣内瓦窯跡を見学。
- b. 令和 4 年 5 月 22 日（日） 王寺町 参加者 48 名
 - ・午前に「王寺町と聖徳太子」講演（王寺町・岡島永昌氏）と座談会。
 - ・午後に西安寺跡、片岡王寺跡、達磨寺跡を見学。
- c. 令和 4 年 6 月 12 日（日） 柏原市 参加者 名
 - ・午前に「柏原市と聖徳太子」講演（安村）と座談会。
 - ・午後に高井寺、鳥坂寺跡、家原寺跡、智識寺跡を見学。

(7) 文化財講演会

定員 80 名、事前にメールまたは往復はがきで申込、申込者多数の場合は抽選、参加料 200 円

- a. 令和 4 年 7 月 23 日（土）
 - 講師 安村俊史「高井田横穴の謎を探る」
 - 講師 松田義弘氏（松岳山古墳保存会会長）「松岳山古墳保存会の活動について」
- b. 令和 4 年 8 月 27 日（土）
 - 講師 山根 航「茶臼塚古墳の調査」
 - 講師 河内一浩氏（考古学野帳徒）「高井田横穴の発見と公園となった今」
- c. 令和 4 年 10 月 29 日（土）
 - 講師 安村俊史「大和川のつけかえほんとうの理由は？」

(8) 市民歴史大学

定員 80 名、事前にメールまたは往復はがきで申込、申込者多数の場合は抽選、参加料 200 円

「聖徳太子の伝説と真実」をテーマに 4 回の講演会を開催（文化財講座例会を兼ねる）。

- a. 令和 4 年 8 月 20 日（土）
 - 講師 三田覚之氏（奈良国立博物館主任研究員）
 - 「美術からみた聖徳太子」
- b. 令和 4 年 9 月 18 日（日）
 - 講師 網 伸也氏（近畿大学教授）
 - 「聖徳太子が創建した難波大寺・四天王寺の謎」
- c. 令和 5 年 1 月 14 日（土） 予定

講師 未定

d. 令和5年2月11日(土) 予定

講師 未定

(9) 開館30周年記念シンポジウム

令和4年11月6日(日)

「30年を振り返って」(仮題)

(10) 体験教室

事前に電話で申し込み、先着順、参加料200円

a. 「しめなわを作ろう」定員15名

令和4年12月4日(日)

b. 「わらぞうりを作ろう」定員15名

令和5年2月5日(日)

(11) 文化財講座

テーマ「聖徳太子の伝説と真実」

定員60名 受講者数60名(応募数68名のため抽選)

日時 原則として毎月第2土曜日 年間10回の予定

受講料 年間2,000円

担当 越智

令和4年

5月14日 「ガイダンス」(講義 越智)

6月11日 「聖徳太子と推古朝の大道」(講義 安村)

7月9日 「聖徳太子の時代の東国」(講義 黒田)

8月20日 市民歴史大学 a

9月18日 市民歴史大学 b

10月8日 「蘇我・物部戦争の戦跡とその周辺」(見学会)

11月12日 「四天王寺とその周辺」(見学会)

12月10日 「太子廟・叡福寺とその周辺」(見学会)

令和5年

1月14日 市民歴史大学 c

2月11日 市民歴史大学 d

3月11日 「まとめ」(講義・越智)

(12) 古文書入門講座

- ・ 5月6日より先着順で電話受付。

a. 初級編

テーマ「『河内鑑名所記』を読む」

定員 24名 受講者数 24名 受講料 年間1,000円

日時 6月から3月までの毎月第1土曜日午前 計10回

b. 中級編

テーマ「三田家文書などを読む」

定員 24名 受講者数 22名 受講料 年間1,000円

日時 6月から3月までの毎月第1土曜日午後 計10回

担当 どちらも越智

(13) 館長と学ぶ河内の古道講座

古代の道について、館長とともに学び、考える講座。

定員 80名 申込不要 先着順 参加料 200円

日時 原則として毎月第4土曜日。

担当 安村

(14) 博物館実習

令和4年8月23日(火)～28日(日)

9名程度の受け入れ予定(京都芸術大学、京都府立大学、近畿大学、奈良大学)

担当 安村

(15) 調査・整理

- 今町・三田家文書の調査・整理。
- 大県・山崎家文書の調査・整理。目録刊行。
- 玉手・安田家文書の調査・整理。
- 玉手・安福寺文書の調査。
- マイクロフィルム撮影事業。調査報告5『柏元家文書Ⅲ』の撮影。

(16) 所蔵・保管資料の貸出等

- これまでと同様積極的に公開・活用を図っていく。市文化財保護条例の施行に伴い、市指定文化財については、通常の手続き以外に公開届が必要となっている。
- 大阪府立弥生文化博物館長期休館に伴い、同館所蔵の柏原市関連資料の里帰り展を実施。令和4年12月から令和5年3月まで。

c. 安福寺所蔵当館寄託の夾紵棺片（市指定文化財）を北海道立近代美術館に貸出予定。令和4年8月～10月。

(17) 寄贈・寄託

広報等での呼びかけとともに、資料集の刊行やスポット展示などによって市民の関心を喚起し、寄贈・寄託資料の増加を図る。

(18) 予定刊行物

- a. 夏季企画展図録『高井田横穴群と松岳山古墳』 令和4年7月刊行予定
- b. 『大県・山崎家文書目録』 I 令和4年8月刊行予定
- c. 『柏原市立歴史資料館館報』第34号 令和4年8月刊行予定
- d. 『ゴンドラ』第19号 令和5年1月刊行予定
- e. 春季企画展図録『高井田山古墳のすべて』 令和5年3月刊行予定
- f. 『柏原の歴史』2・古墳時代 令和5年3月刊行予定

(19) 市民歴史クラブ

9～10月に府立中央図書館にて当館と共催で、「聖徳太子の伝説と真実」の展示を計画。春季企画展「高井田山古墳のすべて」開催に伴い、高井田山古墳の墳丘復元模型、石室復元模型などの製作を予定。

(20) 日本遺産関連事業

a. 龍田古道・亀の瀬

日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会、柏原市にぎわい観光課などと連携し、説明板の設置、シンポジウムの開催、ボランティアの養成などの事業を進めていく。

b. 葛城修験

説明板、案内標識などの設置予定。

(21) ビジュアルストーリーガイド

a. 市民によるビジュアルストーリーガイドと歴史資料館の主催で、市内の遺跡と資料館の資料を紹介するオンラインガイドツアーを実施。毎月最終月曜日に開催予定で、5月30日は松岳山古墳で実施。

(22) 高井田文化教室（柏陽庵）

クラブ登録をした団体には利用料金を半額としている。クラブ制度による定期的な利用者の増加を図るとともに、一般利用者の促進を図る。開館30年を迎えて施設の老朽化が進んでおり、今後の課題となっている。

2. 横穴管理運営関係

(1) 史跡高井田横穴特別公開

- a 春季 5月21日(土) 午前10時～午後3時
参加者 71名
- b 秋季 10月15日(土) 午前10時～午後3時
・市民歴史クラブが参加・協力予定。

(2) 横穴公園等案内

地域の歴史と自然に親しめる公園として、団体の見学希望者に職員が鍵を開けて案内。

(3) 維持管理

- a 保存工事を実施した第3支群5号横穴の経過観察を定期的実施(毎月)。今年度も線刻壁画に対する日照や照明の影響について調べる予定。そのため、照明については人感センサーを切っており、特別公開日を除き、玄室内部を覗くために人が近づいても照明は点灯しない。
- b 横穴公園内景観の維持管理。

(4) その他【柏原市文化財保護条例】

- a 柏原市文化財保護条例に基づく審議会の開催(2回)。
- b 柏原市文化財保護条例に基づく文化財の市指定。

柏原市立歴史資料館等運営協議会委員名簿

号	氏名	備考
1	網 伸也	近畿大学教授 (学識経験者)
1	櫻 澤 誠	大阪教育大学准教授 (学識経験者)
1	綿 貫 友子	神戸大学教授 (学識経験者)
2	橋 本 早知子	柏原市校園長会代表 柏原市立柏原小学校校長
3	渡 辺 宏 治	関西福祉科学大学高等学校教頭 (市内公私立学校関係者)
4	中 野 武	市民代表(公募)
4	山 川 薫	市民代表(公募)

※数字は設置規則第 条1号、2号、3号、4号委員を指す。

※名簿掲載順は、各号委員別にアイウエオ順とした。

※任期は令和6年3月31日まで